

		大田原キャンパス			
科目名	郷土論 ～栃木学～ (前半)《市民開放授業》			授業開始年度	2018 年度
科目担当責任者	金野 充博	科目担当者			
学科	全学科			学年	1 学年 期 前期前半
曜日時限	木曜 3 限	必修/選択	選択	単位数	1 時間数 15 時間
授業の形態	講義				

授業の概要 (主題)	栃木県、とりわけ県北地域の文化や歴史、産業にスポットを当て、これから学び、生活をしていく「第二のふるさと」への理解を深めていく。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県の歴史や文化、産業の豊かさを理解することができる。</li> <li>・県北地域の医療、福祉の一大拠点となっている国際医療福祉大学で学ぶ意義を認識することができる。</li> <li>・過去から現在に至る歴史を踏まえながら、現在抱えている問題や課題を認識し、社会人に求められる基礎的な知見や視点を身につけることができる。</li> </ul>

授業計画		
回数	内容	担当
第 1 回 4/12	大田原市 NOW～健康と福祉のまちづくり	大田原市保健福祉部 健康政策課長 齋藤 雅徳 氏 同・高齢者幸福課長 齋藤 一美 氏
第 2 回 4/19	アジア学院と栃木～農村指導者養成と国際協力	アジア学院理事 佐藤 範明 氏
第 3 回 4/26	俳句から見た県北の自然と文化	俳人 蓮實 淳夫 氏
第 4 回 4/30	大きく変貌した那須塩原・大田原周辺	郷土史家 磯 忍 氏
第 5 回 5/10	ものづくりへの挑戦～伝統から創造へ	渡邊酒造社長 渡邊 英憲 氏
第 6 回 5/17	東野鉄道 50 年のあゆみ	東野交通総務部長 大山 房夫 氏
第 7 回 5/24	産業の国際化と異文化理解	元田渕電子工業社長 佐原 市郎 氏
第 8 回 5/31	国際医療福祉大学の新生に求めること～政治・行政の視点から	大田原市長 津久井 富雄 氏

成績評価の方法	期末レポート
評価の基準	期末レポートと授業への取り組み姿勢を見て総合的に判断する。
準備学習 学習へのアドバイス	<p>【準備学習】 各回の内容を振り返り、ノートにまとめること(60 分程度)</p> <p>【その他アドバイス】 ・第一線で活躍している専門家による密度の濃い授業であるため、積極的に参加すること。 ・授業で取り上げた自然や歴史を知ることができる場所を探訪するなど、「第二のふるさと」への理解を深めるよう心がけること。</p>
履修条件	

教科書	特に指定しない。
参考書	特に指定しない。

オフィスアワー	月曜日2限(10:40~12:10) 研究室(C503) 各回の授業後に、質問時間を設ける。
その他	【関連するディプロマポリシー】 共通ディプロマポリシー1)に該当